

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
5 - 1 - 3	世代・地域を超えて、多様な交流を育む環境をつくる
重点施策ID	重点施策名
5 - 1 - 3 - 1	交流活動の受け皿づくり

2. 事業名等	
事業名	地域間交流事業
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	
事業主体	市
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 23 年度
根拠法規	
各種の計画への反映 (=根拠計画)	事業ID

3. 事業の内容等	
事業の背景	他市との交流を行うことにより、情報交換や産業の振興につながる。
補助事業	名称 補助率 国 県 その他 1/ 1/ 1/
起債の種類	① ② ③
事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 朝倉文夫や雪舟に関する地域と交流を行うことで、市民生活に潤いをもたらせ、文化・産業の振興を図る。	(1) 東京都台東区との交流（平成20年度は台東区60周年） (2) 雪舟を通じた交流（10月に本市で雪舟サミットを開催） (3) 映画デトロイト・メタル・シティ誘致事業 (4) 九州中央地域連携推進協議会等県境を越えた交流連携
【対象】 市民	前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容 E 維持

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	291	355	1,445	9,804	1,200	1,200
計	291	355	1,445	9,804	1,200	1,200	1,200
決 算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	291	355	1,445	9,804		
計	291	355	1,445	9,804			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 ①台東区 訪問 ②雪舟サミット(山口市)参加 ③九州77 交流会等参加	【実績】 ①台東区 訪問 ②九州77 交流会等参加	【実績】 ①雪舟サミット開催 ②映画DMC誘致 ③台東区 訪問	どのような地域間交流が本市と市民にとって有意義であるか検討する必要がある。また、市民が自主的に交流できる環境整備を行う必要がある。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	地域間交流事業の実施回数						
効率指標	-						
成果指標	市民と協働で実施した交流人口						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別	交流人口	交流人口	交流人口	交流人口	交流人口	交流人口	
目標値			1,000	1,000	1,000	1,000	
実績値	700	750	800	1,000			
達成率			80.0%	100.0%			
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	地域間の交流は、様々な分野で展開されており、協働で行うまちづくりには必要である。しかし旧体制をそのままに実施している傾向があり、今後の展開を検討する必要がある。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	3	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	行政間の事業が中心ではあるが、市民自ら交流の場を提供できることが望ましい。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	2	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	現行では行政主体であり、効率的であるとはいきれない。民間主体として取り組むなどの手法の変更が求められる。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	現行では行政主体であり、効率的であるとはいきれないが、雪舟サミットや映画「デトロイト・メタル・シティ」映画誘致など歴史、文化の面では記憶に残る事業が実施された。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	2	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	現行では行政主体であり、非合理的であると思われる。将来を見据えた厳しい財政状況では、事業効果を考える上でも民間主導の検討も必要である。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	現行では行政主体であり、行政が支援する必要がある。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	地域間交流を進めることは、地域の活性化につながる重要な課題である。事業等にかかわらず地域間交流という広い分野での活気と元気にあふれたまちづくりの方向性を導きたい。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	